

— 成人向け —
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止



私が一番先生に
可愛く思われて
ほしいです



それでは本日も
お茶会の方を
始めましょうか



わーい

ナギちゃんの
手作りお菓子
久しぶりー

ではいつも通り
セイアさんから
近況の報告をー



わかったよ

と言っても
あまり変わり
はないがね

最近
は
実に
平和な
ものだ

アハハ...

ウフフ...

まずみなさん
ご存知の通りー



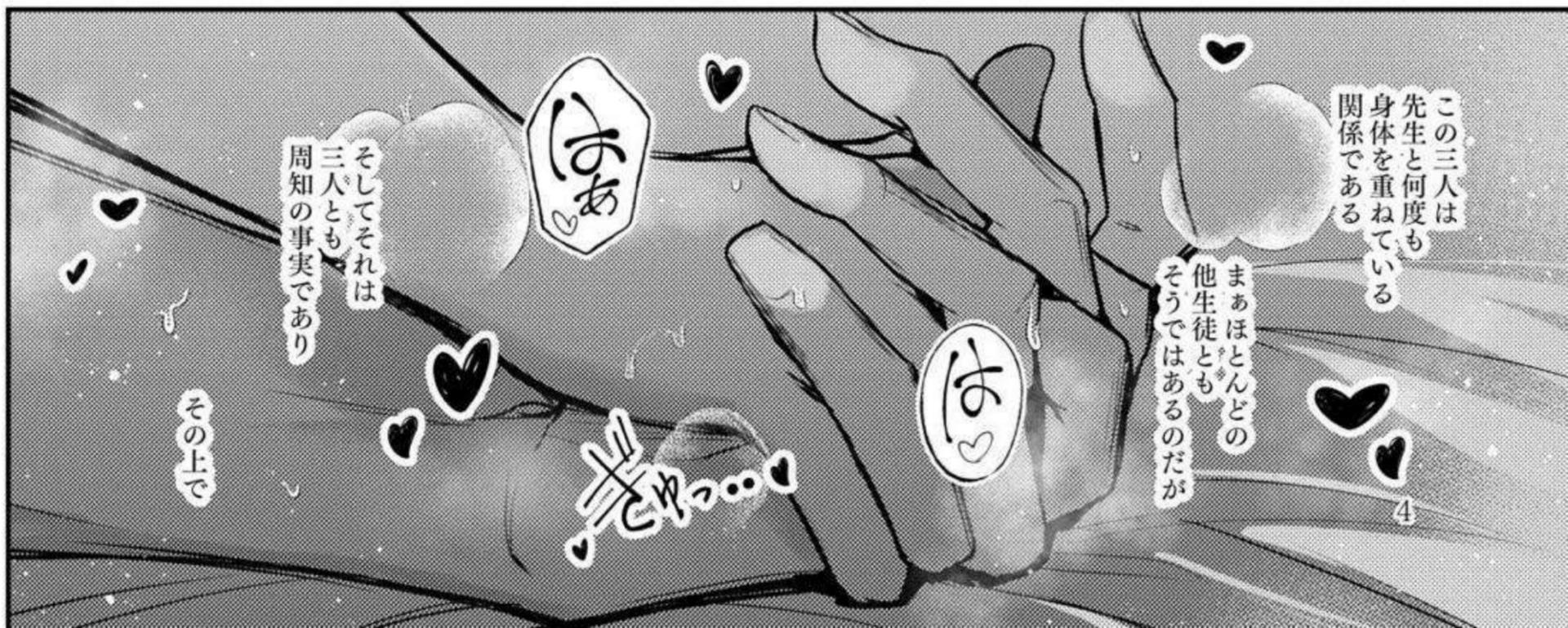
百合園セイア



聖園ミカ



桐藤ナギサ



この三人は先生と何度も身体を重ねている関係である

まあほとんどの他生徒ともそうではあるのだが

そしてそれは三人とも周知の事実であり

その上で

ほあ

ほ



「私が一番
先生に
ふさわしい女」だと

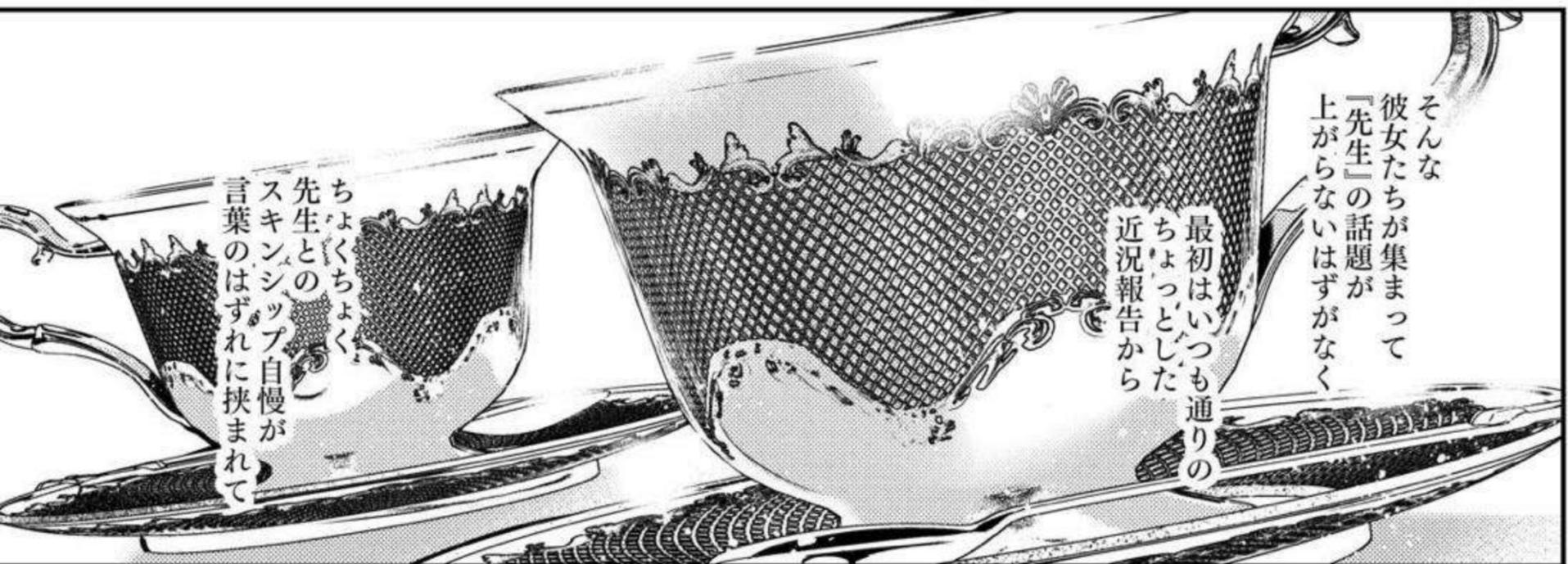
信じて疑わない



「私が一番
先生に尽くして
いる女」であり



「私が一番
先生に
愛されていて」



そんな
彼女たちが集まって
「先生」の話題が
上がらないはずがなく

最初はいつも通りの
ちよつとした
近況報告から

ちよくちよく
先生との
スキンシップ自慢が
言葉のはずれに挟まれて



壮絶な
愛のマウント合戦が
繰り広げられる

先生との
ラブラブマウント
プロレス会場と
なっていたのであった

キィ...



お互いの
惚気の苛立ちに当てられた
彼女たちは
どんだん
ヒートアップしていく

テレ

いつしか
「お茶会」とは
名ばかりの

そして本日
ゴングを
鳴らしたのは

ねえ二人とも
知ってる？

聖園ミカ

先生って
おっぱいで挟まれるの
すっごい
好きなんだよ？

服着たまま
ギュッって
締め付けて

先生のおてて
二つともぎゅーって
絡めて握ってあげたら
すっごい声
あげてくれて

出る

おっぱい

あ

あ

すぐに
トプトプ♡って
お漏らししちゃって

世界で
一番気持ちいい
射精だっただろうね

好き

好き



私の事
「好き〜♥」「好き〜♥」
って言いながら

へこへこ腰動かして
ビクンビクンって震えてる
先生のおちんちん
可愛いんだよ〜?

ハァ

ハァ

ハァ

ハァ



二人じゃ
逆立ちしても
できないだろうし?



今度
見せてあげよっか?



だが、
それと同じくらい
幼女趣向も
強い事を
知らないのかい？

.....
確かに先生は
おっぱい星人な
ことは
知っているよ



特に私のような
体躯が小さい生徒を
組み付す征服感に
劣情を感じるんだよ

私にのしかかり
股座に
顔を突っ込んで

全部
自分のものだ
とばかりに

下着の感触も...
すべすべの太ももも...
小さいアソコも...

顔や舌や陰茎を
擦り付けて
マーキング
してくるんだ



そのまま
私の顔前に
押し付けられた
陰茎を口に
振じ込まれてね



好き勝手に
動いた挙句

食道で
とびきり濃厚なのを
無理矢理
流し込まれた事もある



最終的には
全体重をかけて
グツと抑え込まれて

腰を打ちつけて
喉の奥まで口内を
犯してくるのさ

私の体内までも、
身体すべてが
先生のものだ
と五臓六腑に
刻み込まれてしまったよ

そんな事しないでも
私はすでに
先生のモノなのだがね

先生にも
困ったモノだよ

ああ、すまない

自分本位でしか
楽しんでない
「誰かさん」には
無縁の話だったか

……

なんか
尽くしてまーす
みたいなの
物言いだけどさー

それって結局
ただのオナホ扱い
されてる
だけじゃん？

日頃から抑圧を
強いられている
先生の欲望を

解消させて
あげられるのが
私だけ
だろうからね

あはは♪
セイアちゃんったら
驕るねえ

誰かさん
ほどではないさ

特徴的な
身体を持つ
二人に対し

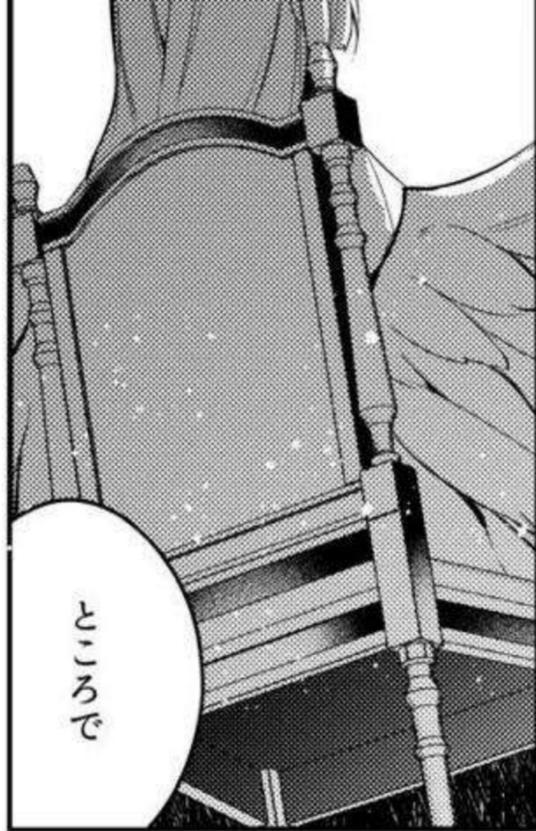
それぞれが
自分の体軀を
生かした
先生へのご奉仕

先生も綺麗だと
言ってくれる
身体だが

それほど
貧相な身体ではない
自覚はあるし

ナギサには
少々
分が悪い話題であった

ミカやセイアに比べ
何かに特出しているとも
言い難いのは
ナギサ自身も理解している



とっろで



表面上は
対立しながらも
もう二つの勢力を
確実に封じ込めるために

目の前の二人も
それを理解して

あえてこの話題を
続けているのだろう



牽制

……特に
これいった事は
ありませんよ

最近
先生と会ってる？



さつきから
大人しいけど
ナギちゃんはどう？

せいせい——



先日、
シャーレの当番を
担当した帰りに
時間ができたので――

先生と
逢引きを楽しんだ
くらいでしょうか――

カウンターを
合わせられたのは

ミカ

……ふーん

キラ...



ちなみに昨晚も
この妄想で
自慰していた

三回至った



謹慎中のミカにとって
「先生と自由にデートする」
というものは立場的に
難しいものであった

雑誌で話題の
お店をチェック――
完璧なデートコースで
ロマンティックな
ムードを演出――

自分の魅力に
惹かれた先生と
あわよくば
そのままホテルで――

幾度となく
夢想するも叶わない…
そんな遠い遠い
理想の話

なるほど

夜の公園で
先生とデート……

アクティブに
動きづらい
ミカにとっては
羨ましい話だろうな

プル……

以前の私なら
ミカと同じ
だっただろうが……

プル……

プル……

百合園セイア——

ここでおもむろに
ドライブ用の
愛用サングラスを
取り出す

デートなら、
私もしているよと、
ミカへの
挑発に切り替え——

ふ、ふーん

ふーん？

そうなんだー？
ナギちゃん
楽しそうだねー

じよほほほ……

じよちー



それって
ナギちゃんは
楽しかった
だろうけどさー

先生は
それで
満足してるの？



ほら、先生って
いろんな子に
手出してるし？

結局えっちな事
大好きじゃん？

えっちができないと
先生
かわいそうだなーって

だからほら…



お外で
素肌を晒すのは
少し肌寒く
ありましたか……

その分、
先生の体温が
感じられて
新鮮な体験でした



声が
漏れないよう
口も塞がれ



※
その後
興奮した先生に
無理矢理……

せめて場所を
変えて欲しいと
お願いしても
お構いなしに
襲われてしまい――

※これは嘘。誘ったのはナギサの方からである。



抵抗できないまま
好き放題に
膣に出されて……

結局朝方まで
解放して
くれませんでした



全く先生にも
困ったものですね

ミカさんの
言う通り
いささか
色を好み過ぎかと

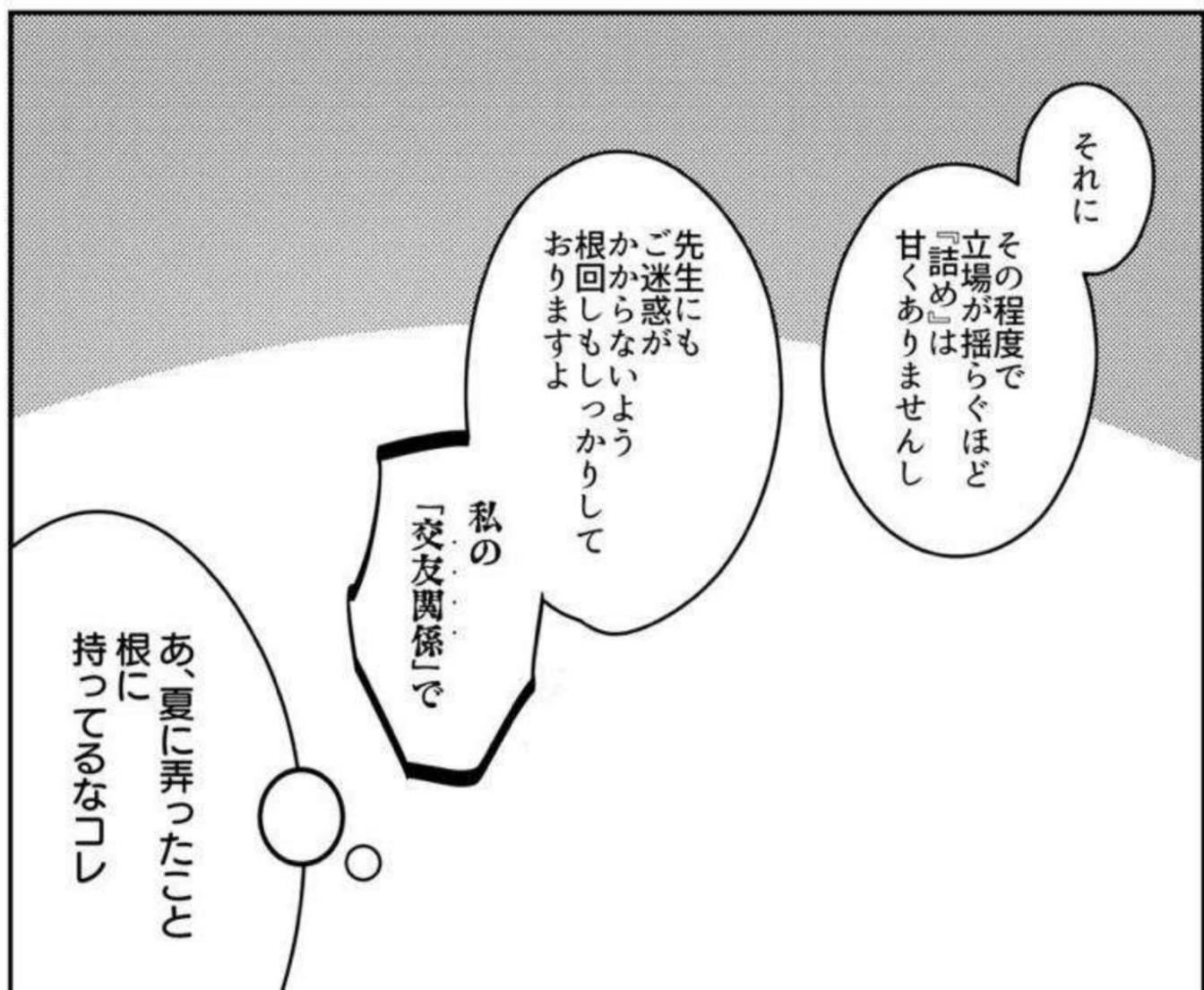


「私でしたから
よかったものの」



……君は
曲がりなりにも
代表だろう

そんな事を
誰かに
見つかったら……



それに

その程度で
立場が揺らぐほど
『詰め』は
甘くありませんし

先生にも
ご迷惑が
かからないよう
根回しもしっかりして
おりますよ

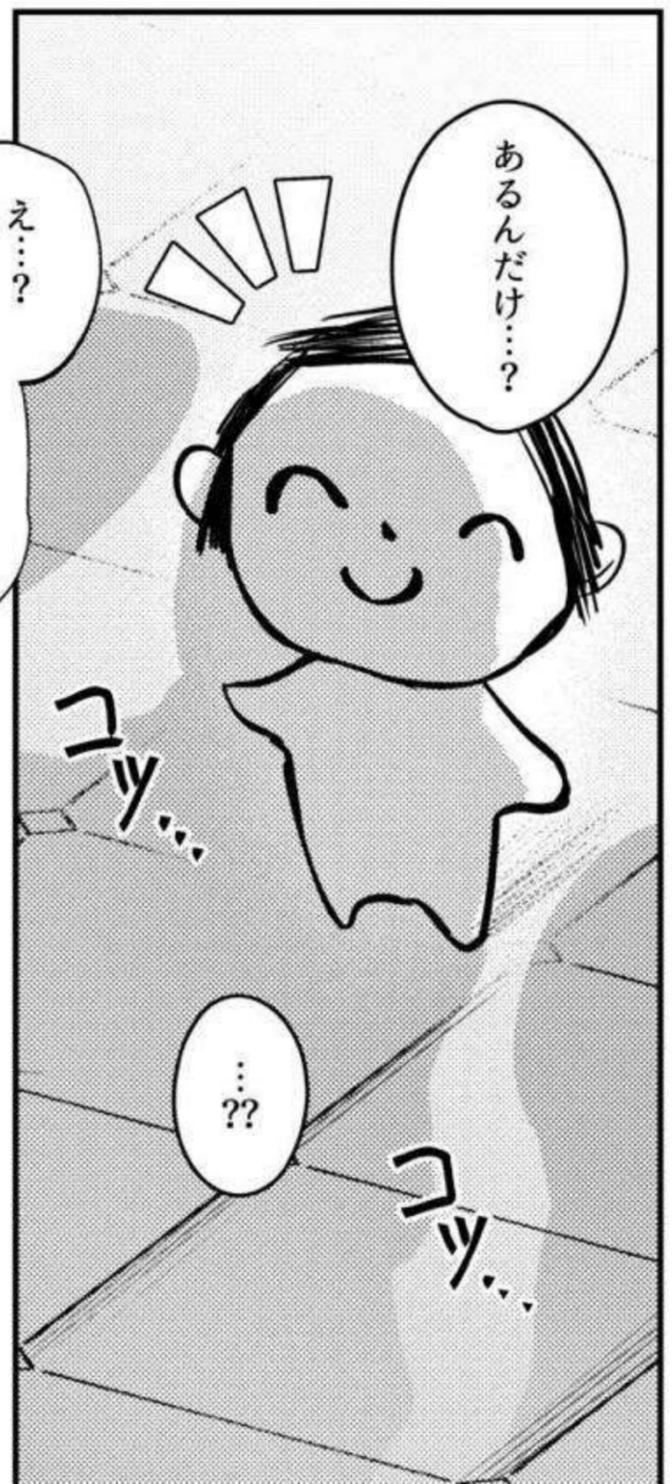
私の
「交友関係」で

あ、夏に弄ったこと
根に
持ってるな」



先生への
愛に比べたら
ティーパーティーの
立場など些細な事

そのぐらゐの
覚悟は
持ち合わせて
おりますとも



少々お時間
いただけますか？



この機会に
ハッキリさせて
もらいますからね





たっぷり
優越感を
感じてくださいね…

ん…先生♥
教え子を3人も
同時に
手籠にしてる気分は
如何かな？



私も
キスするっ

二人とも
ずるいっ



き、桐藤ナギサ…

先生の
おちんちん様で
イカせて
いただきました…

ナギちゃんなんか
イク時
しっかり報告するよう
調教済みじゃん

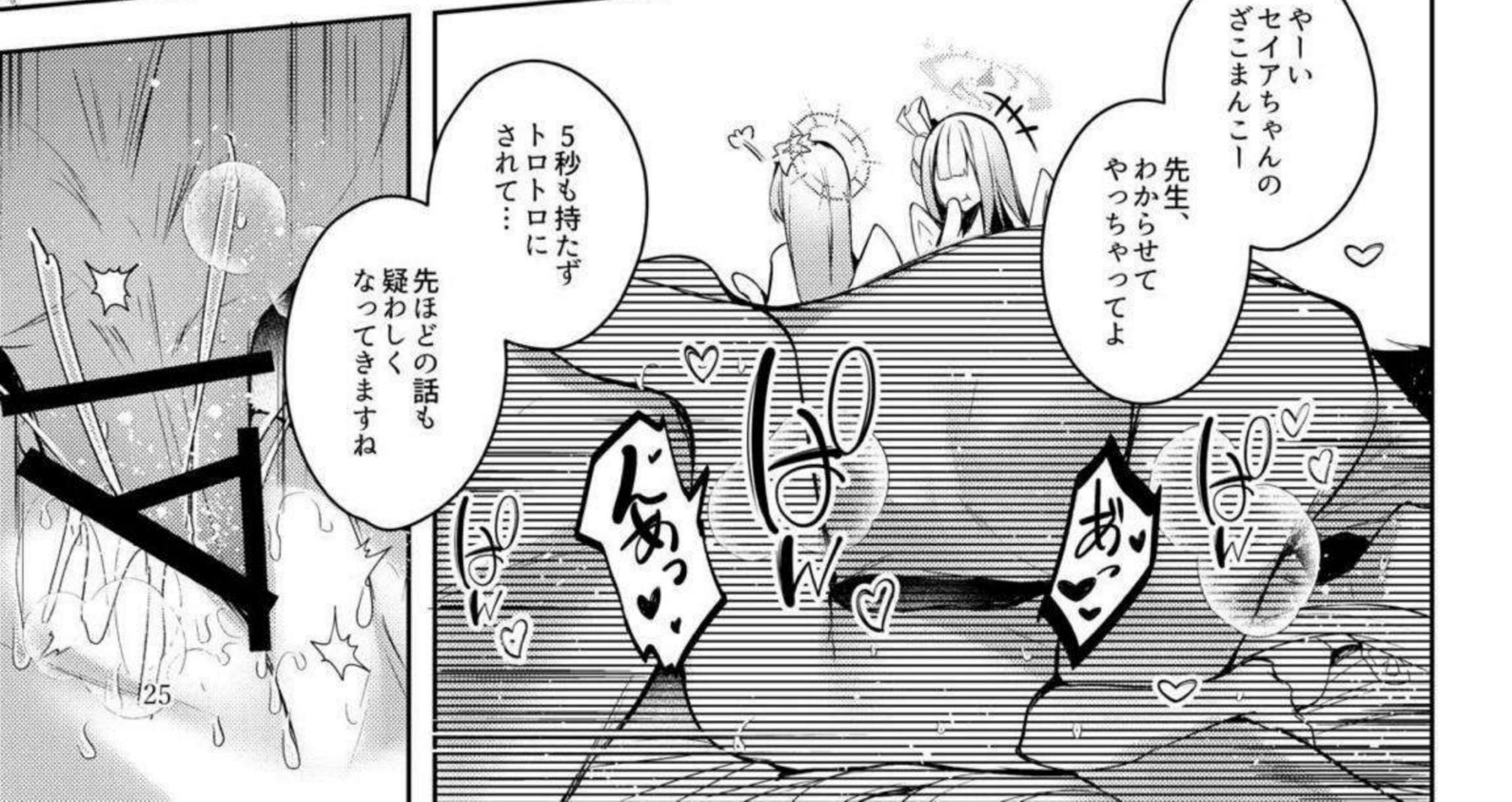
よく慎みとか
言えたものだな



さ…先生

次は
私の番だよ

存分に
幸せにして
あげよう…





セイアちゃんの
負けー♪

弁明の
しようがないほど
完全敗北ですねえ



おっ...♡



はいせんせー
お疲れ様の
おっばいだよー♡

ちよつと
ミカさん
ずるいですよ

先生、
よろしければ
私のもどうぞ…



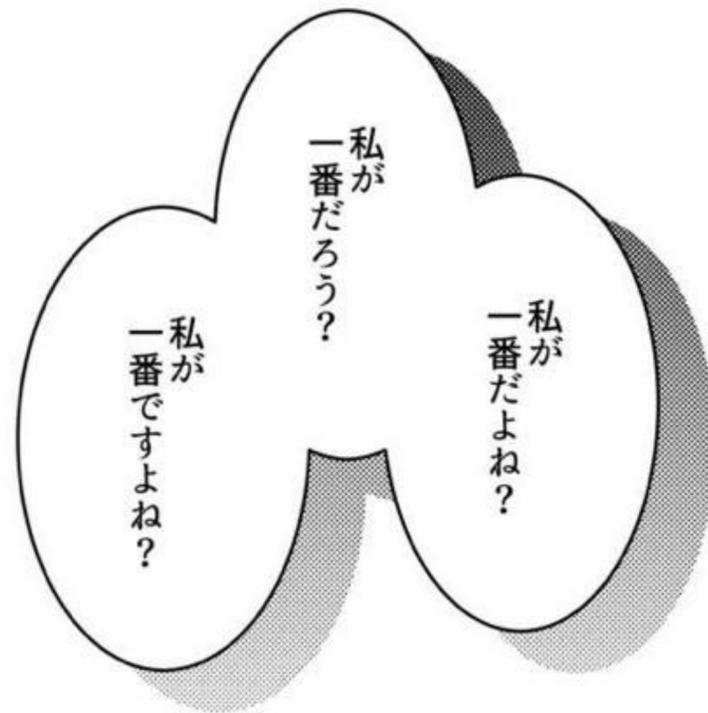
それで…
結局、
先生は誰がいいの？

お望みなら
いつでも
お相手させて
頂きますので…

しっかりと味わって
『食べ比べて』
くれたまえ…♡



先生……♥



終

私が一番
先生に愛されて
いるんですけど??????

2025年 12月30日
コミックマーケット107 初版発行

発行・制作

みどりねこ
碧石猫

midori0014@gmail.com

みどり

X(Twitter) : <https://twitter.com/midori14>

FANBOX : <https://midori14.fanbox.cc>

Fantia : <https://fantia.jp/midori14>

印刷

栄光印刷

謝辞

Blue Archive(Yostar)

